

高大連携実衛星プログラム「ぎふハイスクールサット（GHS）」のフライトモデルの引き渡しが完了

【概要】

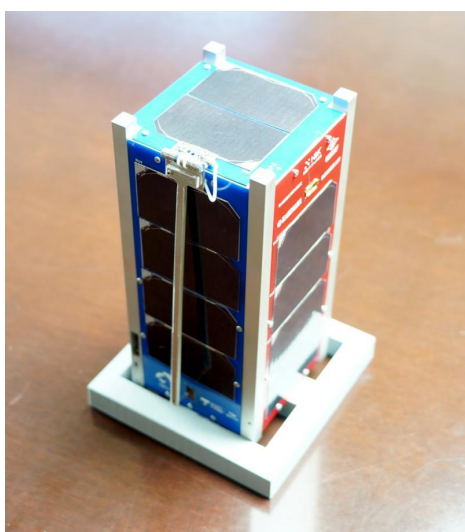
高大連携実衛星プログラム「ぎふハイスクールサット（GHS）」のフライトモデルのJAXA（宇宙航空研究開発機構）への引き渡し完了し、参加した高校生らによる吉田学長への報告が12月23日に行われました。

このプログラムは、岐阜大学と岐阜県が共同で進める「ぎふ宇宙プロジェクト研究会」の一環として実施されているもので、県内の工業高校生と岐阜大学生・大学院生が協力し、フライトモデルの開発を進めてきました。このフライトモデルは、JAXAの安全審査に合格したもので、2025年4月にNASA（アメリカ航空宇宙局）を通じてSpaceX社のファルコン9ロケットで打ち上げられます。国際宇宙ステーションに運ばれたのち、約1か月後に軌道に投入されて地球の撮影や、リトアニア、オーストラリアの高校生との電波受信による軌道推定などの演習を行う予定です。

学長への報告で、GHSチームの生徒達は、「先輩達からこの事業を引き継ぎ、無事に引き渡しまで完了させることができて良かったです。岐阜大学その他、県内の企業や、他の高校の生徒達など、様々な人の力を借りて実現することができました。高校の授業では経験できない取組も多く、非常に勉強になりました」と感想を語りました。

これに対し、学長は、「試行錯誤を重ね、多くの苦労があったことと思いますが、高大連携のみでなく産学連携の枠組みの中でも、最先端の技術に触れることができ、素晴らしい経験を積むことが出来たのではないかと思います。これからもこの経験を生かして、様々な分野で大きく活躍して欲しいです」と述べ、プログラムに参加した生徒達の努力を称賛しました。

このプロジェクトが、若い世代の科学技術への関心を高めるとともに、実践的な学びを提供する場として機能し、参加した高校生らが、今後さらに活躍してくれることを期待します。



JAXAに引き渡されたフライトモデルと
同型のプロトフライトモデル

高大連携実衛星プログラム「ぎふハイスクールサット（GHS）」の
フライトモデルの引き渡しが完了



記念写真

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2024/12/25	岐阜	4工業高の小型人工衛星 JAXAに引き渡し 岐阜大学長に報告 ～「ぎふハイスクールサット（GHS）プロジェクト」、吉田和弘 学長、工学部4年 山下雄碁さん、大学院 鈴木裕翔さん～